

技術講演会等活動状況報告

年頭にあたり北海道技術士センター会員の皆様、
本年も宜しくお願い申し上げます。

さて本号におきましては、昨年10月以降に実施いたしました技術講演会等の取り組み内容を中心に紹介いたします。

後援：北見市

1. 技術士第二次口頭試験対策勉強会の開催

開催日：2005年（平成17年）11月23日（水）

AM 10:00～PM 1:00

開催場所：(株)ドボク管理（北見市）

参加者総数（講師含む）：7名

受験対象者：建設部門（1名）、

総合技術監理部門（2名）

指導講師（敬称略）：

中崎 孝俊、本間美樹治、坂上 琢也

本年度も技術士第二次筆記試験合格者を対象として口頭試験対策勉強会を実施した。勉強会は、本番を想定した面接形式で行い、参加者は研鑽を積んだ。



講演会場

2. 技術講演会の開催

開催要項

日時：2005年（平成17年）12月6日（火）

PM 3:00～PM 5:30

場所：北見工業大学（北見市）

講演1

演題：住民と行政が連携する地域防災

講師：大島 俊之 氏 北見工業大学 副学長
（当協議会会長）

講演2

演題：自動車開発は男のロマン

講師：常本 秀幸 氏 北見工業大学 学長
参加者数：85名

主催：オホーツク技術士協議会



講演される大島副学長（当協議会会長）



講演される常本学長

大島副学長の講演については、主に地震を中心とした各種災害等に関して近年発生した事例をもとに概説された。また、減災に向けた、①住民と行政の連携、②避難指示の具体的なあり方、③寒冷地型災害時の対応、④初等時からの防災教育・意識の高揚の必要性等、各種方策を示された。

常本学長の講演については、自動車に関する、技術の変遷と今後の各種開発の未来図を示された。特に、エンジンの仕組みや歴史、スピードを高める手法等を解説された。また、学長自らの体験を通じ、日々進化する技術開発に取り組む技術者の姿勢についても指し示された。

3. その他

3.1 情報技術まちづくりフェア 2005 の開催

開催概要

日 時：2005 年（平成 17 年）10 月 7 日（金）

AM 10：00～PM 5：00

場 所：北見工業大学（北見市）

主 催：情報技術まちづくりフェア実行委員会

共 催：(社)日本技術士会北海道支部他

後 援：オホーツク技術士協議会他

基調講演 1

演 題：情報による安全・安心のみち&地域づくり

講 師：加治屋安彦 氏 (独)北海道開発土木研究所

基調講演 2

演 題：空間情報社会と自治体 GIS

講 師：柴崎 亮介 氏 東京大学

事業内容としては、その他にプレゼンテーション・セミナー及び、展示・実演が実施された。

当日、(社)日本技術士会北海道支部 e-ラーニング特別委員の次の方々により基調講演を収録して頂いた。

松井 義孝 技術士、吉野 大仁 技術士

小野 孝 技術士、榎本 義一 技術士

参加総数：600 名

3.2 寒地地震防災研究推進センター講演会

日 時：2005 年（平成 17 年）12 月 20 日（火）

PM 4：00～PM 5：30

場 所：北見工業大学（北見市）

講 師：田近 淳 氏

北海道立地質研究所 主任研究員

演 題：北海道の活断層

— 調査の進展と課題 —

主 催：北見工業大学寒地地震防災研究推進センター

後 援：オホーツク技術士協議会

参加者：56 名

3.3 北見市タウン・ネットワーク懇話会への参加

北見市タウン・ネットワーク懇話会の協議メンバーとして、オホーツク技術士協議会より参加している。

この懇話会（北見市：事務局）は、地域コミュニティの活性化や市民と行政の協働のあり方などを検討することを目的として行われているもので、昨年、7 月より、月 1 回程度会議が開催され本年度中に中間報告書をまとめる予定となっている。

オホーツク技術士協議会から参加している懇話会委員

橘 邦彦 技術士 (株)パル設計事務所

以上、活動状況を報告させていただきました。

この度の各種事業開催に当たり、ご尽力・ご協力いただいた関係者、及び講師等の方々に改めて御礼を申し上げます。

最後になりますが、会員皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

(文責：オホーツク技術士協議会事務局長
岡田 包儀)